

河 北 新 報

2026年（令和8年）5月24日（日）

不動産動向セミナー “高価格住宅に動き”

「高価格住宅に動き」

仙台 不動産動向セミナー

不動産や金融の専門家らで構成するアセットブレインズ仙台ネットワーク（仙台市）は、仙台圏の不動産市場の動向を考える会員企業向けのセミナーを仙台市青葉区のせんだいメディアテークで開いた。オンライン視聴を含め、会員企業の関係者ら約170人が聴講した。

不動産調査会社シーカーズプランニング（同）の佐々木篤代表は、2025年の居住用不動産の動向を解説。建設費の高止まりが影

響し、仙台市内ではアパートやマンション用地の収支が低下して仕入れ価格の見



仙台圏の不動産動向をテーマにしたセミナー

直しが進んだと明かした。

一方、価格や金利の上昇が定着し、利便性の高いエリアでは5000万～6000万円台の建売住宅で取引に動きがあったと説明。今後の仙台圏の住宅需要について「世帯数と人口増加に伴い堅調が続くだろう」と分析した。

ネットワークの佐々木正之事務局長は、25年の事業用不動産取引状況を紹介した。件数と金額はともに前年を大きく上回り、過去最高を更新。首都圏の物件不足を背景に企業などによる購入が活発で、30億円以上の大型取引が7件あったことなどを要因に挙げた。セミナーは22日にあった。